

# 社会経済史学会 第76回全国大会 プログラム

2007年5月26日(土)・27日(日)

会場：創価大学

## 5月26日 土曜日

開場 8:30  
自由論題報告① 9:30～10:20  
② 10:25～11:15  
③ 11:20～12:10  
昼休み 12:10～13:00  
自由論題報告④ 13:00～13:50  
⑤ 13:55～14:45  
⑥ 14:50～15:40  
特別講演 15:50～17:00  
会員総会 17:10～18:00  
会員懇親会 18:00～20:00

## 5月27日 日曜日

開場 8:30  
パネル・ディスカッション 9:30～12:00  
昼休み 12:00～13:00  
共通論題報告 13:00～17:00

主催：社会経済史学会 第76回全国大会実行委員会事務局  
〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236  
創価大学経済学部 神立研究室気付

5月26日(土) 自由論題報告

## 第1会場 (日本産業史関係)

文系A棟 A130教室

### ① 9:30~10:20

戦前期日本の産業化と木材利用  
——炭鉱業における坑木調達を中心に——  
報告 山口 明日香(慶應義塾大学大学院)  
司会 市原 博(駿河台大学)

### ② 10:25~11:15

個人消費支出からみた戦間期の景気変動  
——LTES個人消費支出の再推計——  
報告 宇都宮 浄人(日本銀行)  
司会 松本 貴典(成蹊大学)

### ③ 11:20~12:10

1920年代東京府機械関連工業集積  
——関東大震災の影響を中心に——  
報告 今泉 飛鳥(東京大学大学院)  
司会 植田 浩史(慶應義塾大学)

### ④ 13:00~13:50

小作争議発生要因の定量分析  
——労働市場からの視点——  
報告 有本 寛(日本学術振興会特別研究員)  
坂根 嘉弘(広島大学)  
司会 天野 雅敏(神戸大学)

### ⑤ 13:55~14:45

戦時日本における酒類配給機構の整備  
報告 弘津 由美子(東京大学大学院)  
司会 柳沢 遊(慶應義塾大学)

### ⑥ 14:50~15:40

日本自動車産業の中国進出  
——トヨタ自動車を中心に——  
報告 三和 元(日本経営史研究所)  
司会 宇田川 勝(法政大学)

※アフターセッション：文系A棟A126教室

## 第2会場 (運輸・交通関係)

文系A棟 A129教室

### ① 9:30~10:20

(報告なし)

### ② 10:25~11:15

鉄道草創期の自主権確保の経緯  
——レイ裁判記録を用いた再構成の試み——  
報告 林田 治男(大阪産業大学)  
司会 星野 誉夫(武蔵大学)

### ③ 11:20~12:10

明治期以降における地方鉄道の役割  
——北恵那鉄道株式会社をめぐる利害関係からの分析——  
報告 関谷 次博(中京学院大学)  
司会 渡邊 恵一(駒澤大学)

### ④ 13:00~13:50

第一次大戦後の瀬戸内海における帆船海運業と炭鉱企業  
——麻生商店の自家輸送と「一杯船主」——  
報告 木庭 俊彦(九州大学大学院)  
司会 落合 功(広島修道大学)

### ⑤ 13:55~14:45

1840年代ドイツ語圏諸国の鉄道建設における経営上の諸問題  
報告 鳩澤 歩(大阪大学)  
司会 山田 徹雄(跡見学園女子大学)

### ⑥ 14:50~15:40

両大戦間期における朝鮮の穀物流通と鉄道輸送  
——鉄道貨物統計の分析を中心に——  
報告 竹内 祐介(京都大学大学院)  
司会 千葉 正史(明治学院大学・非常勤)

※アフターセッション：文系A棟A125教室

5月26日(土) 自由論題報告

## 第3会場 (金融・貿易関係)

文系 A 棟 A229 教室

### ① 9:30~10:20

日英中央銀行の関係および協力の考察：  
1897-1921年

報告 サイモン・ジェイムス・バイスウェイ (日本大学)  
司会 鈴木 俊夫 (東北大学)

### ② 10:25~11:15

第一次大戦期の日銀支店と地方銀行  
——新潟県を事例に——

報告 早川 大介 (東京大学大学院)  
司会 粕谷 誠 (東京大学)

### ③ 11:20~12:10

第2次大戦前の日本における財政の維持可能性

報告 鎮目 雅人 (神戸大学)  
司会 神山 恒雄 (明治学院大学)

### ④ 13:00~13:50

コンピュータ・グラフィックス (CG) による  
貿易統計可視化システムとその応用

報告 岸田 真 (日本大学)  
脇田 玲 (慶應義塾大学)  
杉山 伸也 (慶應義塾大学)  
司会 リンダ・グローブ (上智大学)

### ⑤ 13:55~14:45

再建金本位制下の先物為替市場  
——流動性の観点から——

報告 高橋 秀直 (一橋大学大学院)  
司会 西村 閑也 (法政大学)

### ⑥ 14:50~15:40

1930年代イングランド銀行による  
アルゼンチンの金融システム改革  
——中央銀行成立の経緯と結果の分析を中心と  
して——

報告 佐藤 純 (八戸工業高等専門学校)  
司会 金井 雄一 (名古屋大学)

※アフターセッション：文系 A 棟 A223 教室

## 第4会場 (医療関係)

文系 A 棟 A228 教室

### ① 9:30~10:20

(報告なし)

### ② 10:25~11:15

公立ハンセン病療養所成立 (1909年) の社会  
経済史的背景および意義

——養育院・慰廃園から全生病院への過程に  
焦点を絞って——  
報告 平井 雄一郎 (世界経済情報サービス)  
司会 友部 謙一 (大阪大学)

### ③ 11:20~12:10

近代東京市における尿尿処理の有料化

報告 星野 高德 (慶應義塾大学大学院)  
司会 中西 聡 (名古屋大学)

### ④ 13:00~13:50

医療利用組合と地域医療供給の変容  
——鳥根県鹿足郡地域の事例から——

報告 中村 一成 (一橋大学大学院)  
司会 千田 武志 (広島国際大学)

### ⑤ 13:55~14:45

戦間期日本における乳児死亡の構造と母胎・  
母体を取り巻く生活環境  
——1910~1930年代、東北農村の再検討——

報告 白井 泉 (大阪大学大学院)  
司会 鬼頭 宏 (上智大学)

### ⑥ 14:50~15:40

戦後における看護婦家政婦紹介所の展開過程  
——神奈川県を事例として——

報告 山下 麻衣 (京都産業大学)  
司会 千本 暁子 (阪南大学)

※アフターセッション：文系 A 棟 A222 教室

5月26日(土) 自由論題報告

## 第5会場 (アジア・アフリカ関係)

文系A棟 A329教室

### ① 9:30~10:20

上海郊外農村在住家族の家計運営  
——1973年から2000年にわたるある家族の  
家計分析に基づいて——

報告 木成 欣弥 (プール学院大学研究生)  
司会 城山 智子 (一橋大学)

### ② 10:25~11:15

清末上海水道建設の問題からみた都市社会の  
形成

報告 菊池 智子 (京都大学大学院)  
司会 飯島 渉 (青山学院大学)

### ③ 11:20~12:10

戦間期在華紡の労働力構成  
——内外綿上海工場の労働者名簿による分析——

報告 芦沢 知絵 (東京大学大学院)  
司会 久保 亨 (信州大学)

### ④ 13:00~13:50

英領植民地シンガポールの民間最終消費支出推計、  
1900-39年、1948-60年

報告 杉本 一郎 (マレーシア国立マラヤ大学)  
司会 猿渡 啓子 (東北大学)

### ⑤ 13:55~14:45

戦間期函館における海産物移出の展開と台湾  
商人の活動

報告 谷ヶ城 秀吉 (早稲田大学大学院)  
司会 古田 和子 (慶應義塾大学)

### ⑥ 14:50~15:40

日滿支経済ブロックの構想と展開

報告 荒川 憲一 (防衛大学校)  
司会 小林 英夫 (早稲田大学)

※アフターセッション：文系A棟 A324教室

## 第6会場 (西洋史関係)

文系A棟 A327教室

### ① 9:30~10:20

専門商の成長と女子均分相続  
——1660年から1710年のアムステルダムの  
ワイン商の増加を中心に——

報告 杉浦 未樹 (東京国際大学)  
司会 安元 稔 (駒澤大学)

### ② 10:25~11:15

近代フランスにおける製粉産業の発展と流通  
構造の転換

——19世紀中葉のコート・ドール県における穀  
物流通の再編——

報告 横山 直弘 (東京都立大学大学院)  
司会 佐村 明知 (大阪大学)

### ③ 11:20~12:10

第一次世界大戦とフリードリヒ・ナウマンの  
中欧構想

——「経済国家」の分析を中心に——

報告 杵淵 文夫 (東北大学大学院)  
司会 今久保 幸生 (京都大学)

### ④ 13:00~13:50

第二次大戦後のドイツ工作機械工業の復興過程

報告 幸田 亮一 (熊本学園大学)  
司会 今久保 幸生 (京都大学)

### ⑤ 13:55~14:45

チェコスロヴァキアのドイツ系住民の被追放  
過程とドイツ連邦共和国への統合過程

報告 瀧川 貴利 (東京大学大学院)  
司会 佐藤 勝則 (東北大学)

### ⑥ 14:50~15:40

第2次世界大戦後における難民・被追放者の  
西ドイツへの受容

——ノルトライン・ヴェストファーレン州の  
事例を中心に——

報告 西田 哲史 (創価大学)  
司会 永岑 三千輝 (横浜市立大学)

※アフターセッション：文系A棟 A323教室

5月26日(土) 15:50~17:00

特別講演 大教室棟 S201 教室

## 人的資源論から見た 近代経済の歴史

講演 猪木 武徳 (国際日本文化研究センター教授)  
司会 斎藤 修 (一橋大学)

### 講演者略歴

1968年 京都大学経済学部卒  
1974年 マサチューセッツ工科大学 PhD  
大阪大学経済学部教授をへて  
2002年より 国際日本文化研究センター教授

### 主要著書

『経済思想』(岩波書店、1987年)  
『高度成長』日本経済史 8、共編著 (岩波書店、1989年)  
『学校と工場——日本の人的資源』(読売新聞社、1996年)  
『経済成長の果実』(中央公論新社、2000年)  
『自由と秩序——競争社会の二つの顔』(中央公論新社、2001年)

5月26日(土) 17:10~18:00

大教室棟 S201 教室

## 会員総会

5月26日(土) 18:00~20:00

ニューロワール

## 会員懇親会

5月27日(日) 9:30~12:00

パネル・ディスカッション①  
文系 A 棟 A130 教室

## 市場の比較制度史： 近代アジアにおける統治と効率性

組織者 杉原 薫 (京都大学)  
岡崎 哲二 (東京大学)  
司会者 リンダ・グローブ (上智大学)

### 報告 1

前近代における市場の情報効率性：  
堂島・大津米市場における価格形成の分析  
報告 高槻 泰郎 (大阪大学)

### 報告 2

近代移行期における市場の情報効率性と  
レントの分配  
報告 中林 真幸 (大阪大学)

### 報告 3

国家による秩序の崩壊と再編：19世紀中葉の中国  
沿海部における取引制度  
報告 村上 衛 (横浜国立大学)

### 報告 4

私的取引制度の機能と変化：  
18世紀末~19世紀前半東部インドにおける  
塩取引と東インド会社  
報告 神田 さやこ (慶應義塾大学)

### コメント

城山 智子 (一橋大学)

5月27日(日) 9:30~12:00

---

パネル・ディスカッション②  
文系 A 棟 A129 教室

### ランドマーク商品の研究 ——商品史からのメッセージ——

組織者 石川 健次郎(同志社大学)  
司会者 上村 雅洋(和歌山大学)

---

#### 報告 1

ランドマーク商品と商品史  
報告 石川 健次郎(同志社大学)

---

#### 報告 2

テレビゲーム——ファミコンを中心に——  
報告 鍛冶 博之(同志社大学大学院)

---

#### 報告 3

自動販売機  
報告 水原 紹(大阪学院大学)

---

#### 報告 4

ペットボトル  
報告 川満 直樹(阪南大学)

---

#### コメント

瀬岡 誠(大阪学院大学)

---

パネル・ディスカッション③  
文系 A 棟 A229 教室

### 東アジア・東南アジアにおける衛生・ 社会・近代性

組織者 永島 剛(専修大学)  
飯島 渉(青山学院大学)  
司会者 川越 修(同志社大学)  
脇村 孝平(大阪市立大学)

---

#### 報告 1

長崎における「開港場医療」の展開  
1859-1899 年  
報告 市川 智生(横浜国立大学大学院)

---

#### 報告 2

19 世紀末から 20 世紀初めの漢城と仁川における衛生事業の展開  
報告 金 穎穂(東京大学大学院)

---

#### 報告 3

ジャワのベスト対策からみる 20 世紀オランダ領東インド保健行政  
報告 村上 咲(京都大学大学院)

---

#### 報告 4

1920 年代前半「国際衛生条約(1912)」改正をめぐり動きと上海  
報告 福士 由紀(日本学術振興会特別研究員)

---

#### コメント 1

国際関係史の視点から  
後藤 春美(千葉大学)

---

#### コメント 2

ヨーロッパ史の視点から  
永島 剛(専修大学)

---

#### コメント 3

アジアの衛生行政・総括  
飯島 渉(青山学院大学)

## 社会経済発展とディアスポラ（離散共同体）

——情報・知識・技術伝達と労働力移動の局面から——

社会科学的研究も日々変化し、世界の社会経済史研究も一方では詳細な事象分析に向かい、他方では学際・国際的方向に向かっている。アメリカでは近年、ディアスポラ研究に関心が集まり、さらにECの拡大と旧東ヨーロッパの変化のなかで、同じくディアスポラ研究が進んでいる。そこにはディアスポラという言葉に象徴されるユダヤ人の迫害を受けた集団の位置づけではない。アジアでは古典的に中国人のディアスポラがある。さらに日本人、また朝鮮人さらにインド人、フィリピン人もディアスポラを形成している。

一番の変化は中国の政治・経済変化である。過去の海外進出ネットワークを利用して、僅か20年で国家経済の姿を変えた。その際、中国人ディアスポラの貢献が評価されるべきである。幕末明治に到来した外国人（特に英国人、その多くはスコットランド人）のお雇いのネットワークの流れをもとに、ディアスポラを取り上げる。

司会 杉山 伸也（慶應義塾大学）  
須藤 功（明治大学）

### 問題提起

スコットランド人ディアスポラと19世紀日本  
——お雇い外国人教師・技師の流れ——  
報告 北 政巳（創価大学）

### 報告 1

中国人のディアスポラ  
——人材輸出という社会移動戦略について——  
報告 斯波 義信（東洋文庫）

### 報告 2

ディアスポラとネットワーク  
——スコットランド商人と19世紀アジア——  
報告 フォーブス・マンロー（英国・グラスゴー大学）

### 報告 3

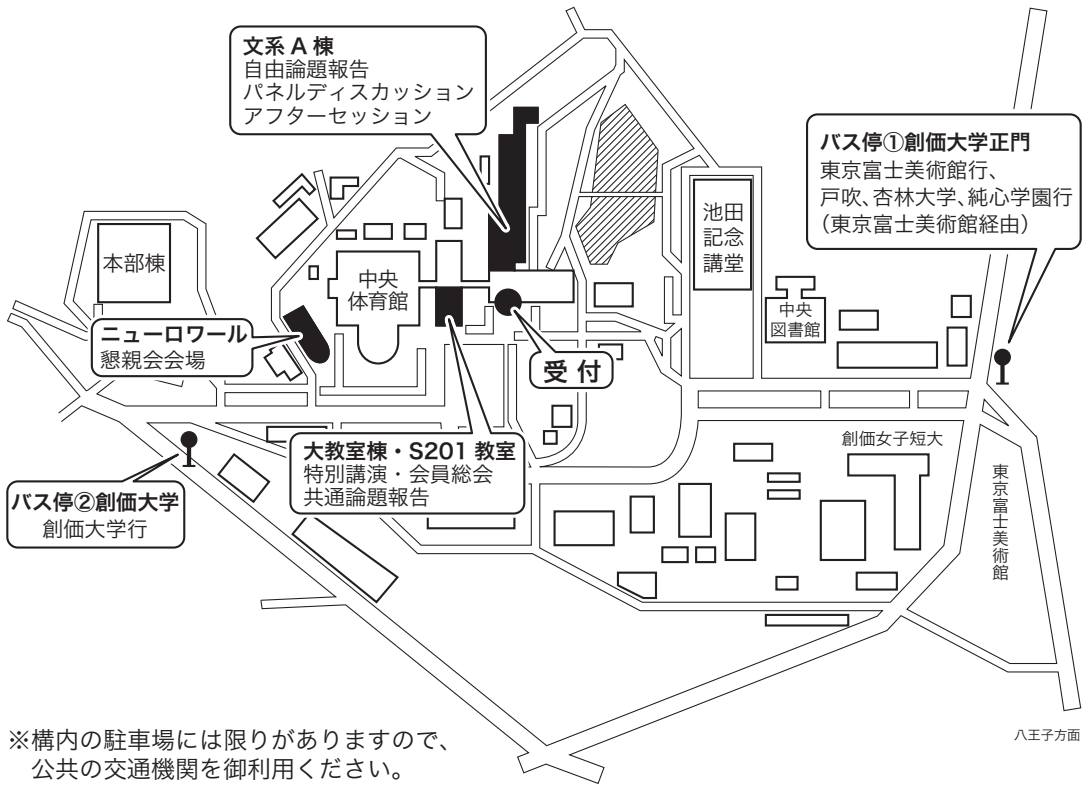
フィリピン人ディアスポラの経験  
——途上国の対応から——  
報告 シルバノ・マヒヲ  
（フィリピン大学アジア研究センター）

### 報告 4

インド人ディアスポラと日本  
報告 ムケッシュ・ウィリアム  
（創価大学、インド・デリー大学）

### コメント

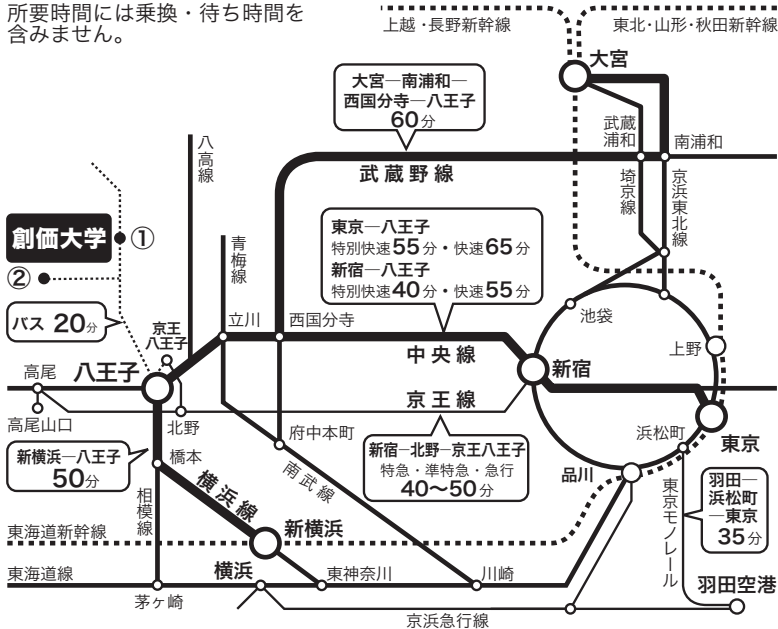
脇村 孝平（大阪市立大学）  
植村 正治（流通科学大学）



※構内の駐車場には限りがありますので、  
公共の交通機関を御利用ください。

## アクセス

所要時間には乗換・待ち時間を  
含みません。



## バスのご案内

- 京王八王子駅 4番のりば
- JR八王子駅北口

12番\*のりば

\*土曜日10:30までおよび  
臨時バスは14番のりば

- ①東京富士美術館行終点下車  
または  
東京富士美術館経由、  
戸吹、杏林大学、純心学園行  
創価大学正門下車
- ②創価大学行 終点下車

土曜日10~20分毎  
日曜日20~30分毎  
JR八王子駅から臨時バスを  
運行する予定です。